

VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	児童劇
----	----	----	-----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の有無(該当する方を選択してください。)

複数申請の有無	無
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

その他を選択した場合	
------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃともしび 株式会社ともしび		
代表者職・氏名	齊藤 隆		
制作団体所在地	〒 171-0033 東京都豊島区高田1-12-17		
電話番号	03-6907-2731	FAX番号	03-6907-3812
ふりがな 公演団体名	おべれっただげきだんともしび オペレッタ劇団ともしび		
代表者職・氏名	本道 亮		
公演団体所在地	〒 171-0033 東京都豊島区高田1-12-17		
制作団体 設立年月	昭和43年 3月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役 齊藤隆 取締役 丸山堅司 取締役 清水正美 他	団体構成員:「ともしび」の音楽文化を創造し、普及しようとするもの。 加入条件:上記要件を認め、活動しようとするものはだれでも。	
事務体制の担当	他の業務と兼任	本事業担当者名	高柴秀樹
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	小松原奈々子

<p>制作団体沿革</p>	<p>1954 歌声喫茶灯開店 1968 オペレッタ劇団ともしび発足 1969 音楽文化集団ともしび結成 1971 株式会社ともしび設立 (この間) 歌声喫茶灯新宿店 亀戸店 吉祥寺店 オペレッタ「べっかんこ鬼」「お月さんももいろ」首都圏中心に公演 日本児童演劇協会主催僻地巡回公演 茨城・千葉・高知公演など 1989 「金剛山のトラたいじ他」韓国より招聘公演(以後5次にわたり韓国各地で公演) 1992 芸術振興基金助成公演「金剛山のトラたいじ他生野野外公演」 1993「懐かしの歌声喫茶」全8巻 CD・CT発売(全国通販) 沖縄キジムナフェスタ立ち上げ参加/日本EU優秀児童劇招聘公演 1994「金剛山のトラたいじ他」平成6厚生省中央児童福祉審議会特別推薦文化財 1996 出前歌声喫茶開始(以後毎年200日公演) 2002 アシテジ(国際児童青少年演劇協会)世界大会・ソウル招聘公演 「金剛山のトラたいじ他」(文化庁フェスティバル助成) 2004 歌声喫茶50周年記念事業 CDなど出版 2009 日本・メコン交流記念オペレッタ「シンプルプレイ 3びきのこぶた」ラオス、カンボジア、ベトナム公演 2018「トラの恩がえし」厚生労働省社会保障審議会特別推薦児童福祉文化財受賞 2019「トラの恩がえし」一般財団法人 児童健全育成推進財団2019年度児童福祉文化財受賞 現在に至る</p>		
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>1967年 学校公演開始オペレッタ「カップ沼の宝物」年間30公演程度公演 幼稚園・保育園公演「ごんべえかかし」「狼五郎」 1980年代 オペレッタ「べっかんこ鬼」、「お月さんももいろ」等年間100日程度公演 1980年代 オペレッタ「おこの家」オペレッタ「金剛山のトラたいじ」など年間150日程度公演 1990年代 オペレッタ「いのちのバトン」「金剛山のトラたいじ」など年間120日程度公演 2000年代 ともしび「バラエティ劇場」「金剛山のトラたいじ」など年間80日程度公演 2010年代 オペレッタ「トラの恩がえし」ともしび「バラエティ劇場」など年間80日程度公演 主に首都圏を中心に公演 この間、オペレッタ「いのちのバトン」「金剛山のトラたいじ」は文化庁「本物の舞台芸術体験事業」 「トラの恩がえし」は令和元年、令和2年、令和3年に「文化芸術による子供育成総合事業」巡回公演事業採択 公益社団法人日本児童演劇協会地方巡回公演は、ほぼ毎年採択され、首都圏以外の学校公演を多数行う。</p>		
<p>特別支援学校に おける公演実績</p>	<p>公演実施校:埼玉県立蓮田特別支援学校 都立町田養護学校 埼玉県立和光養護学校 岡山県 健康の森学園養護学校 長野県立稲荷山養護学校等 高知県立盲学校 埼玉県立毛呂山特別支援学校 東京都立鹿本学園、神奈川県立麻生養護学校、岐阜県立本巣特別支援学校等、多数 公演演目:「お月さんももいろ」「金剛山のトラたいじ」「おもしろどんどん」「トラの恩がえし」等</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>A</p>	<p>申請する演目のチラシパンフレット等</p> <p>申請する演目のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>有</p> <p>有</p> <p>https://www.youtube.com/watch?v=ei9x6a1a_Ll4</p> <p>ID: <input type="text"/></p> <p>PW: <input type="text"/></p> <p>有</p> <p>※公開資料有の場合URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p> <p>ID: <input type="text"/></p> <p>PW: <input type="text"/></p>
	<p>Aの提出が困難な場合</p>	<p>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>有</p> <p>有</p> <p>ID: <input type="text"/></p> <p>PW: <input type="text"/></p>

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 オペレッタ劇団ともしび】

対象	<input type="radio"/>	小学生(低学年)	<input type="radio"/>	中学生		
	<input type="radio"/>	小学生(中学年)				
	<input type="radio"/>	小学生(高学年)				
企画名	「トラの恩がえし」					
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>オペレッタ「トラの恩がえし」 原作 韓国・朝鮮民話 音楽:リ・ジェホ+韓国・朝鮮の伝統音楽から 脚本:中西明+韓国・朝鮮と日本チーム 演出:大野幸則+韓国・朝鮮と日本チーム 美術:内山勉 新井真紀</p> <p style="text-align: right;">公演時間(80 分)</p>					
著作権	<input type="radio"/>	制作団体が所有	<input type="radio"/>	制作団体以外が所有する事項が含まれる	該当なし	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合)許諾状況
演目概要	<p>◆あらすじ 大昔は仲良く暮らしていたという人間とトラ、いつしかお互いを敵として、憎みあって暮らすようになっていました。山奥に母親と2人で暮らす木こりが、ある日けがをして苦しんでいるトラを助けます。思いがけず命を救われたトラは、木こり親子に恩がえしをはじめ、最後には自分の命をかけて一計を案じます。敵同士という垣根を越えて生まれる普通の友情が胸を打つ朝鮮民話がベースとなっています。</p> <p>◆上演にあたって ●録音やマイクなどの拡声器材を一切使わず、すべて生で歌い、演奏するオペレッタです。子どもたちが思わず声を上げて応援したり爆笑したりと、舞台と客席との交流が豊かで、演者と観客との心の交流が一層の臨場感を生み出す構成になっています。</p> <p>●韓国・朝鮮の伝統的な楽器、歌、美術、独特のリズムを取り入れ、隣国との文化的な相違や共通点を知る機会ともなります。大道芸の妙技も楽しんでいただけます。</p> <p>●演劇には悪条件と言われてきた体育館の構造を逆に活かして、「体育館演劇」と呼ばれる独特の空間を作り出します。具体的には、体育館の舞台も利用してスタジアム風の客席を設営し、後方でも見やすくする、音響器材を使わないことで余分な反響音をなくし、歌やセリフを聞き取りやすくする、などの工夫をしています。</p> <p>●役者たち自身が構成を練り、場面場面を話し合い、試し合って創る「デバイング」方式をとっています。役者たちがお互いを認め合い、「生きあう」ことが、作品のテーマである「生きあう力」を舞台で表現する支えになっています。</p>					
演目選択理由	<p>●人間同士の「心の垣根」が静いや対立、戦争など大きな不幸を生み出している今日、その「垣根」を取り払い思いやりや優しさ、相手への理解の大切さを描きたく、この作品を選びました。また、人の役に立つこと、人に喜ばれることが自分の喜びともなる、そんな生き方、人と人の「生き合う」姿を伝えたいと願っています。</p> <p>●あわせて、隣国の文化に触れるきっかけとなることを期待しています。</p>					
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>●小学校では、歌唱が可能であれば、オープニングの歌と、それに続く「わらべ唄」をいっしょに歌います。歌唱が不可の場合、朝鮮半島の伝統的なリズムをひとしきり楽しんだ後に、そのリズムに乗せて演技者がオープニングの歌を歌います。エンディングでも同様にリズム遊びで参加します。時間的に可能であれば公演後にバックヤードツアー(舞台裏見学)を実施します。</p> <p>●中学校では数名の生徒に、ラストの大道芸に参加してもらいます。時間的に可能であれば公演後にバックヤードツアー(舞台裏見学)を実施します。</p>					
出演者	中西明 李在浩 藤崎健太 本道亮 宋明花 金嬉仙 千足咲菜					
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 7 名 スタッフ: 1 名 合計: 8 名		機材等 運搬方法		積載量: 2 t 車 長: 6.5 m 台 数: 1 台	

【公演団体名 オペレッタ劇団ともしび】

実施に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安	前日仕込み	無	会場設営の所要時間		2	時間程度
	午前中に2回公演の場合、前日仕込みが必要です					
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	7時30分	7時30分～9時30分	10時40分～12時	0分	12時30分～ 13時50分	14時
※本公演時間の目安は、午前10時30分からの概ね2時限分程度です。休憩10分も可能です						
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ		歌唱が可能なら20～30名、歌唱不可の場合リズム遊びのみとし、密にならない範囲で人数は無制限。			
	本公演		1ステージ300～350名を限度とする			
ワークショップ 実施形態及び内容	<p>およそ2時限で行います。小学校ではオープニングのかけ声と冒頭の2曲を、簡単な振り付けもつけて練習し、本公演に参加します。あわせて朝鮮半島の民族楽器「チャンゴ」の演奏を聴いてもらうなど、隣国の文化に触れる機会とします。歌唱不可の場合、劇団員の演奏の後に朝鮮半島の特徴的なリズムを手拍子で練習します。この手拍子にあわせて劇団員がオープニングの歌を歌います。</p> <p>中学校ではカヤグムの演奏と歌唱も楽しんでもらいます。本公演で行う大道芸の一部を紹介し、数名の生徒にやってもらいます。</p>					
ワークショップ 実施形態の意図	<p>韓国・朝鮮とは古代から多くの交流があり、文化的にも様々な共通点を持ちながら、また、まったく違う面もあります。特に、3拍子をベースとしたリズムは日本とはまったくちがうもので、ぜひ体験してもらいたいと考えます。</p> <p>また、劇(Play)が「遊び」の延長であることを楽しく感じ取ってもらえるワークショップにしたいと思います。</p>					
特別支援学校での 実施における工夫点	<p>盲・聾学校では事前に楽譜、台本を提供し、物語の内容が伝えられるよう配慮します。</p> <p>客席は劇団が設営しますので、車椅子スペースや寝て観るスペースなど、先生方と相談してなるべく見やすい空間にします。</p> <p>ワークショップも、障がいに応じて、リズム中心、歌中心、踊り中心など興味を持てる形態にします。</p>					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

令和3年度
文化芸術による子供育成総合事業
—巡回公演事業—

オペレッタ劇団ともしび
児童劇公演

オペレッタ

韓国・朝鮮の民話より

おん

トラの恩がえし

エンディングは韓国・朝鮮の大道芸を楽しんでください。



「文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—」
我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校などにおいて公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション能力の育成。将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につながることを目的としています。
事前のワークショップでは、子供たちの実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演では、出来るだけ子供たちに参加してもらいます。

こうせい ろうどうしょうしゃかい ほしやう しんぎ かい とくべつ すいせん じ どう ふく し ぶん か ざい
厚生労働省社会保障審議会特別推薦児童福祉文化財
いっばんざいだん ほうじん じ どう けん ぜん いく せい すい しん ざい だん ねん ど じ どう ふく し ぶん か ざい
一般財団法人児童健全育成推進財団2019年度児童福祉文化財

オペレッタ 韓国・朝鮮の民話より

トラの恩がえし

民族楽器の生演奏 韓国・朝鮮の大道芸も楽しい。

子どもたち一人ひとりの「生きる力」から 人と人が共に「生かしあう力」へ
思いやりとやさしさが心の垣根を取り除く 思いやりとやさしさが新しい世界を開く
トラと木こりの心をつなぐ!! 笑いあり、涙ありの物語。

【あらすじ】

昔むかし、朝鮮半島にはトラがたくさんおりました。
人はトラの皮を宝物として珍重し、一方トラは、人間を食う
ので、憎みあっていました。

山奥で母親と二人で暮らす若い木こりが、ある日、痛み
で苦しんでいるトラに出くわし、助けてやります。

思いかけず助けられたトラは、ケガがなおると木こりへ
の恩がえしを始めるのでした。しかし最後の恩がえしは…



「おれも
おれも友だちだぞ！」



「おーい トラよ、
ずんっと
友だちだからな〜」



知っていますか？ 10月1日は「国際音楽の日」です。

1977年にユネスコの要請で設立された国際音楽評議会という会議で、翌年の1978年から毎年10月1日を、世界の人々が音楽を通じてお互いに仲良くなり交流を深めていくために「国際音楽の日」とすることとしました。

日本では、1994年から毎年10月1日を「国際音楽の日」と定めています。

【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	I115	分野	演劇	種目	児童劇	ブロック	I	区分	A区分
公演団体名	オペレッタ劇団ともしび				制作団体名	株式会社 ともしび			

① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談		
控室について	必要数 *	2室	条件	着替え用であるため窓にカーテンがある部屋				可		
搬入について	来校する車両の大きさと台数 *			2トラック	1台	バン	2台	可		
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細									
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			2トラック長さ6.4m 幅2.2m 高さ3.2m				可		
	搬入車両の横づけの要否 *			要				可		
	横づけができない場合の搬入可能距離 *			5m以内				可		
	搬入経路の最低条件			出来れば階段など高低差が少ない所。登校時間と搬入時間が重ならない時間の設定。				可		
	理由			俳優が裏方も兼任するので、できるだけ負担を軽減したい。						
	設置階の制限 *			3階以上相談				可		
	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.8m	高さ	1.8m		可		
	WSについて	参加可能人数		20~40名程度				可		
学年の指定の有無 *		なし	指定学年 *				可			
所要時間の目安 単位:分		おおよそ2時限				可				
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。						
	鑑賞可能人数			300人				可		
	舞台設置場所 *			フロア				不可		
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	10m	奥行	8m	高さ	8m	可	
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *			不要				—	
		舞台袖スペースの条件 *							—	
		緞帳 *		不要		バトン *		不要		—
	遮光(暗幕等)の要否 *			一部要		理由		西日等を遮るため		可
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)		指定位置へのピアノの移動 *		不要		※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			—
			ピアノの事前調律 *		不要				可	
	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可				可	
	公演に必要な電源容量			60A		※主幹電源の必要容量			可	
	その他特記事項							応相談		
フロアに客席を劇団が設置します。段差をつけて観客が見やすくするためです。							可			
ベンチ椅子・台など劇団が持ち込みます。折りたたみ椅子などをお借りする場合があります。										
ピアノは公演で使用しませんが、俳優の発声練習などでお借りします。										

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	1.8m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		5m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

